

2024年10月10日

課題名：IgG4 関連十二指腸病変の臨床病理学的検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、IgG4 関連疾患にみられる十二指腸病変の臨床像、組織所見の特徴について調べています。本研究では、IgG4 関連疾患の十二指腸病変の病態解明を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2024年9月までに膵頭十二指腸切除が行われて自己免疫性膵炎（膵癌に合併した自己免疫性膵炎を含む）と診断された方、およびIgG4 関連疾患と診断されて十二指腸の生検が行われた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

診断時に作製した病理標本を用いて十二指腸の病理所見（組織所見、免疫染色によるIgG4、IgG 陽性細胞数、十二指腸内の病変の分布）を調べます。比較のため、ファーター乳頭や消化管の他部位の組織があれば、同様に調べます。必要があれば、パラフィンブロックを利用して新たに病理標本を作製することもあります。また、臨床情報の中から、年齢、性別、臨床診断、現病歴、既往歴、合併症、切除/生検後経過（IgG4 関連疾患の再燃の有無、病変の経時的変化、生死）、IgG4 関連疾患の他臓器病変の有無、画像所見（消化管病変の指摘の有無）、内視鏡所見、血液検査データ（CRP、血球数、白血球の分類、肝胆道系酵素、蛋白分画、免疫グロブリン値、IgG4、アミラーゼ、リパーゼ）、ステロイドを含む治療の有無と効果を調べます。

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024年11月7日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報、残余検体を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
病理診断科 研究責任者 能登原 憲司

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明